

2022 年 1 月 31 日

2021 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科
課題研究

退職後の男性が生きがいのある生活を送るための支援の検討

Examination of Supporting Retired Men
to Lead a Rewarding Life.

20MN007

氏名 尾形陽子

要旨

研究目的

退職後の男性が抱く課題を明らかにし、生きがいのある生活を継続するための支援を検討する。

研究方法

本研究は、半構造的インタビューを用いた質的記述的研究である。社会交流活動を行っていない退職後の男性7名を対象とした。

研究結果

分析の結果、退職後の男性が抱く課題として【日常と非日常の区別がなくなり時間を持て余す】、【経済的な不安が生まれる】、【仕事をしない自分の存在価値が分からない】、【自分と社会との繋がりが薄れることで孤立感を感じる】、【自分の健康寿命を意識して行動しなければならない】、【退職前に退職後の課題を踏まえた生活の準備をしていなかったので退職後から自分の生き方を具体的に考えなければならない】、【自分の力で生活を再構築しなければならない】という7つのカテゴリが抽出された。これらの課題は同時期ではなく異なる時期に出現することがわかった。

また、退職後に生きがいのある生活を送るための支援ニーズとしては、【退職後の生活を具体的にイメージし人生設計できる退職前研修をしてほしい】、【社会保障を充実させてほしい】、【働く意欲がある人への就労支援をしてほしい】、【生きがいづくりを支援してほしい】、【地域資源を広く周知してほしい】という5つのカテゴリが抽出された。

結論

退職後の男性が生きがいのある生活を送るための支援として、退職後の生活で望む活動を行うための支援、退職後の生活に向けて退職前に行う支援、退職後の男性が地域に入りやすくなる仕組みづくり、また支援に際して地域・職域連携の必要性が考えられた。